

知的財産教育（創造性の教育）

①思考力の芽生えを育む環境の工夫について

②体験の充実と思考力の芽生えに配慮した
指導について

東海大学付属本田記念幼稚園

園長 庄司 暢道

報告者 石橋 宏之

知的財産教育（創造性の教育）

- ① 主体的な遊びから、創造の喜びや楽しみを体験する。
(思考力の芽生えの育成、問題解決能力)
- ② 自己効力感(自己有能感)を大切にした
保育・教育をおこなう。
- ③ 自分を大切にし、他人を尊重する気持ち・態度を
育てる。(社会性・コミュニケーションの力)
- ④ 人が創造したもの(知的財産)を尊重する気持ち・態度
を育てる。(権利関係)

思考力(考える力)の芽生えを はぐくむ環境

- 幼児一人一人の興味や関心をいかしつつ、友だちと共に試したり工夫したりする体験を充実させること。
- 幼児が周囲の物事に対する見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるように環境を工夫すること。

現代の幼児を取り囲む環境

早期教育(英語・体操・文字教育など)

- 結果重視
 - 短期間で成果をもとめられる
 - じっくり遊ぶ時間がない
-
- 遊びの中で様々な経験や体験をもとに、学ぶ環境が失われつつある。
 - 思考力を育てる環境が失われつつある

木工室の設置



いかだ作り (年中児)





知的財産教育(創造性の教育) TIP Weeks(知的財産週間)の活動

●毎年11月(1か月間)

時間:10:20~11:30 約1時間10分程度

●内容

3歳児:学年単位

3つのテーマに分かれて活動

『のりもの』『町ごっこ』『忍者ごっこ』

4歳児・5歳児:縦割り保育(2学年混合)

4つのテーマに分かれて活動

『レッツ・サイエンス』『お話』『おどろろ!』『地図づくり』

レッツサイエンスのポイント

思考力(考える力)の芽生え

遊ぶ(試行)

つくる

考える

(学び、工夫)

●進め方

- ・ 材料を紹介する
- ・ 材料コーナーを設置
- ・ 自由に必要なだけ取れるようにする

(提示したものの以外にも、幼児が希望する物をできる範囲で用意)
(構造(しくみ)が簡単で工夫しやすいものを提示)

●ポイント

・ 時間の保障

※試したり、工夫したりする時間(遊び時間)を十分に保障する

- ・ 一斉的な作り方はしない
- ・ 答えを先に教えない
- ・ 個々の進捗具合を常に把握しながら、個に応じた声かけを行う
- ・ 友だちとつなぐ声かけを行う
- ・ 子どもたちのアイデアをかたちにする







事例①



事例②



思考力の芽生えを育むために

①体験からの学び

＜自ら問題を発見・試行・改善・解決できる環境づくり＞

②幼児のつぶやきやアイデアを聞く

③遊ぶ時間の保障

(効率や成果を優先せず、経験をする時間を確保する)

④友だちとつなぐ

(子ども同士の学びあい、教えあう環境づくり)

個→グループ(友だち)へ

⑤再び経験をする(学んだ事を実践する)

三位一体の教育

子ども－保護者－幼稚園(教員)の連携が重要
体験型説明会の有効性



ご清聴ありがとうございました